



音楽科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

1学年



- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。
- (2) 音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創造的に表現する能力を育てる。
- (3) 多様な音楽に興味・関心をもち、幅広く鑑賞する能力を育てる。

2・3学

- (1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- (2) 楽曲構成の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創造的に表現する能力を高める。
- (3) 音楽に対する総合的な理解を深め、幅広く鑑賞する能力を高める。

こんなことに取り組んでいます

特色ある取り組み

1. 歌唱では、独唱、斉唱、二重唱、各パート毎の練習を通してハーモニー創りをします。
2. リズムアンサンブルを取り入れ、そこからリズム創作活動を行っていきます。
3. 音楽の様々な要素や曲の構造と曲想の関わりなどを発見して様々な音楽を聴きます。
4. 和楽器(箏)やクラシックギターに触れることにより、日本や西洋の音楽に興味を持てるようにします。



音楽科シラバス

音楽は、世界中の国々でそれぞれ歴史をもって息づいています。そこには、得意、不得意ということではなく、心を表示したり、人と人との心をつないだりして、人々が音楽を心の「よりどころ」として見る姿を見ることができます。

1週間に1～2時間の授業ですが、歌やリコーダーなどを中心とした楽器の演奏、音楽づくり、鑑賞を通して、様々な音楽にかかわり、いろいろな音楽のよさを、皆で味わうことを目指します。

また授業の中心となる合唱では、歌を通して表現することの楽しさと協力して生まれるハーモニーの美しさを感じ、合唱することの喜びを味わってほしいと願っています。

令和5年度
東松山市立松山中学校

こんな力を育てます

- 音楽の良さや美しさを感じ取り、音楽活動に意欲的に楽しく取り組める力
- 互いの思いや意図を認め合い取り入れ合いながら表現の工夫をしようとする力
- 表現に必要な諸要素の基本的な知識と技能の習得、演奏の向上力
- 様々な音楽の楽曲の持つ特徴や美しさを感じ、主体的に音楽性を高められる力



指導の重点

- 新学習指導要領の移行期に合わせて
- 教科の目標および内容をふまえ、地域や学校、生徒の実態に即して、三年間を見通した年間指導計画を作成し活用する。
 - 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を理解し、そこから生まれる音楽の特質や雰囲気を感じることで、音楽の良さや美しさを感じ、鑑賞し自らの表現活動に結びつけた活動ができるようにする。

こんなことを評価します

- 1年間を通して、次の3つの観点から学習の様子を評価します。
- ♪**知識・技能**
 - ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。
 - ・創意工夫を生かし、全体の響きを感じながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、表現している。
 - ♪**思考・判断・表現**
 - ・音色、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもっている。
 - ♪**主体的に学習に取り組む態度**
 - ・旋律と言葉との関係に関心を持ち、音楽活動を楽しむ。

評価の観点

評価の方法

※各題材では、学習の途中や題材終了時等に、上の3つの観点から、「学習の実現状況」を表した「評価規準」を設定し、評価をしていきます。

音楽での評価は、授業の取り組みの様子や、歌唱・演奏活動の態度や技術、提出物の内容などが中心になってきます。音楽は実技教科ですので、一時間一時間が勝負です。よく意識して、学習活動に取り組むようにしましょう。

学習した内容がどのくらい定着しているか実技テストの他、授業の中で筆記テスト等も行います。

